

地域の伝統継承と広がる笑顔

◎遺跡まつり

可愛らしい作品に癒される



11月25日、泉小学校、泉公民館および岩谷遺跡公園を会場に、「遺跡まつり」が開催されました。岩谷遺跡公園で行われた神事で幕を開けた「遺跡まつり」。泉地区の伝統と文化を継承することを目的として、毎年開催されています。会場では、泉小学校の児童たちが地域の皆さんと一緒に収穫した古代米を使ったおにぎりの販売やチャリティーバザー、さらに、フリーマーケットやお茶会などが行われました。また、泉小学校体育館では、地域の人たちが制作した渾身の作品を展示。ステージでは芸能発表が行われ、会場を盛り上げていました。

土佐和紙の祖の偉大さを改めて実感

◎新之丞帰村 21 年慰霊祭

新之丞に思いを馳せ、伊予神楽を奉納



「紙漉き新之丞帰村21年慰霊祭」は11月25日、「土佐紙祖・新之丞の生誕の地、日吉地区の日向谷で行われました。土佐で急病に倒れたところを助けてもらった恩返しとして、現在の高知県いの町に土佐七色紙を漉き出す技術を伝えたと言われている新之丞、「土佐和紙の祖」としてその功績は広く語り継がれています。新之丞祭実行委員長の出口篤夫さんは、「新之丞さんの偉業を再認識できた。これからも、いの町と鬼北町の交流が多方面で発展することを期待している」と話していました。

ふるさと納税をして家族で安心

◎郵便局みまもりサービスに関する締結式

浦瀬局長(写真左)と兵頭町長(写真右)



12月7日、鬼北町役場で「郵便局のみまもりサービスをふるさと納税の返礼品とすることに関する協定書」の締結式が行われました。「郵便局みまもりサービス」とは、郵便局社員等が毎月1回、高齢者宅を訪問し、会話を通じて確認した生活状況の結果を家族へメールで報告するサービスのことで、このサービスが地域社会貢献施策の一助となることから、今回返礼品に選定されました。浦瀬孝之愛媛県南予地区連絡会地区統括局長兼下大野郵便局長は「少子高齢化が進む鬼北町の一助となるよう、安心安全の町づくりに協力したい」と決意を述べていました。

等妙寺旧境内の調査・整備・活用を…

◎等妙寺国史跡指定10周年記念シンポジウム

史跡に対し活発な意見が飛び交う



12月1日、近永公民館で等妙寺旧境内の国史跡指定10周年を記念したシンポジウム「中世等妙寺の具体像に迫る」が開催され、県内外から約80人が参加しました。会では町の学芸員による発掘調査の成果報告や、専門家による記念講演が行われ、参加者たちは真剣な様子で耳を傾けていました。その後、今後の史跡の整備や利活用を考えるパネルディスカッションを実施。史跡に愛着を持ってもらうためには、年代別に行事を開催する必要があるなどの声があり、参加者も地域の財産・宝をどう活かすべきか考えを巡らせていました。